

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 横須賀市政記者クラブ
- 令和5年11月13日同時配布

令和5年11月13日
国土技術政策総合研究所

国総研資料第1256号 『空港舗装のPCR算出方法の研究』を刊行します ～空港舗装強度の公示方法が改定されました～

国際民間航空機関第14附属書（ICAO Annex14）が2022年に改定され、舗装強度の公示方法として1981年から用いられてきたACN-PCN法は2024年11月27日で廃止され、翌11月28日からはACR-PCR法が用いられることとなりました。そのため、ICAOが定めた新しいACR算出方法や我が国の空港舗装設計法を考慮した標準的なPCR算出方法を構築することを目的として研究を実施しました。

本資料では、国土交通省航空局が2023年10月に改定した「舗装強度の公示方法について」に採用された、我が国の空港舗装のPCR算出方法の技術的詳細を掲載しています。

<目次>

- 第1章 はじめに
- 第2章 舗装強度の公示における留意点
- 第3章 アスファルト舗装のPCR算出方法の検討
- 第4章 コンクリート舗装のPCR算出方法の検討
- 第5章 オーバーロード運航の目安の検討
- 第6章 結論
- 第7章 おわりに

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL：<https://www.ysk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1256.pdf>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 空港研究部 空港施設研究室

室長 坪川 将丈

TEL：046-844-5019

E-mail：ysk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp